



© 大森今日子



© 大森今日子

一般財団法人福岡県建築住宅センター 建築住宅センターの住まいづくりサポート

- 住宅相談
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- 住まいづくり教室
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- 生涯あんしん住宅
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- インスペクション「住まいの健康診断」
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施
- 空き家活用サポートセンター
空き家の活用や処分などに関する専門相談員による相談窓口
- お問い合わせ先 TEL 092 781 5169 www.fkjc.or.jp/

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応えてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性（定期報告）に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

お問合せ先／福岡県建築都市部住宅計画課内
福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

電話番号 092 643 3733

福岡県庁HP

「福岡県美しいまちづくり建築賞」で検索

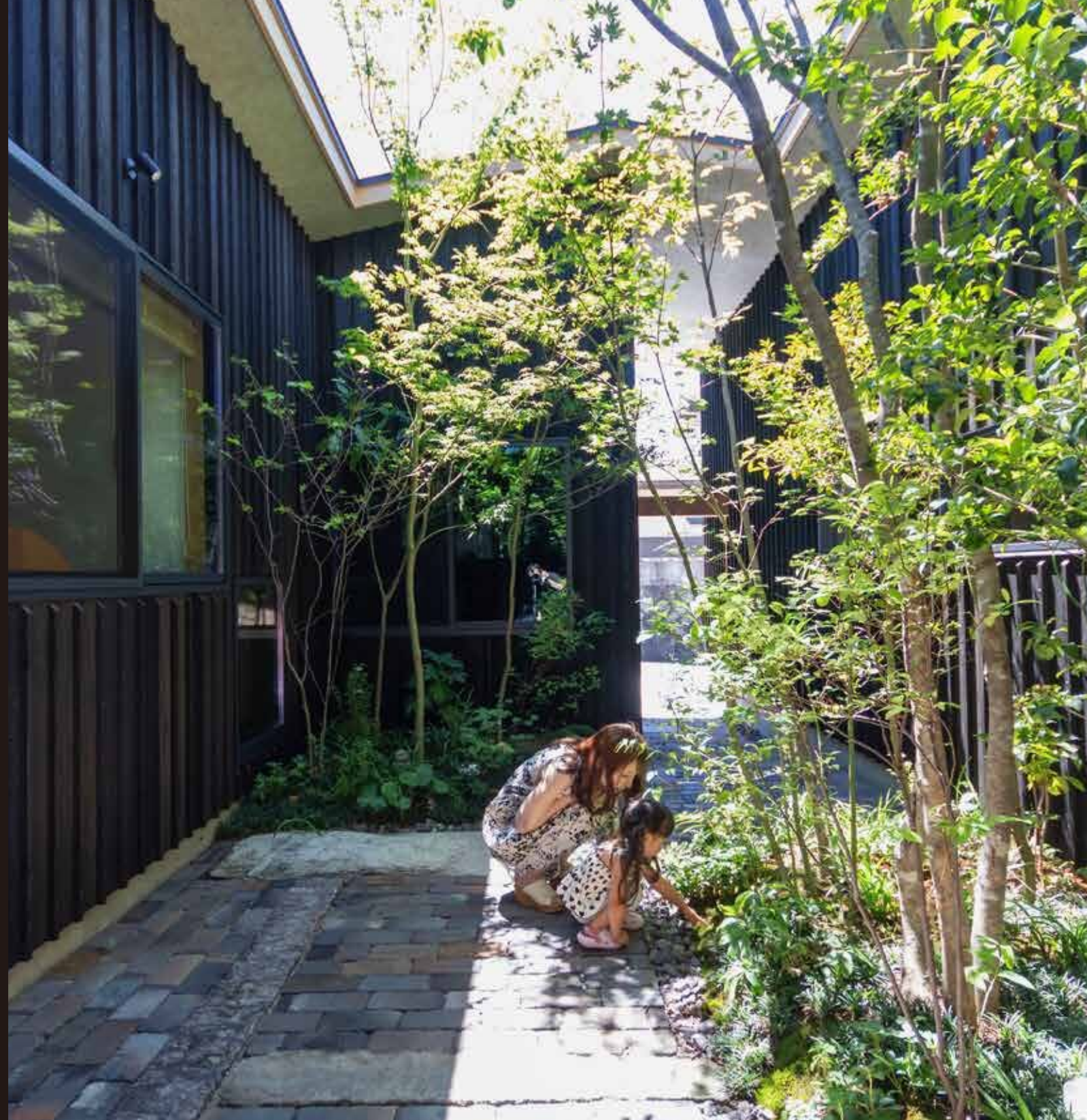


The 38th Fukuoka Prefecture Architectural Award for Artistic Urban Design

第38回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞 作品集

The 38th Fukuoka Prefecture Architectural
Award for Artistic Urban Design

2025 38th.





INDEX

■ 表彰趣旨・ご挨拶・建築住宅センター	00
■ 総評	01
■ 大賞	02
■ 優秀賞	06
■ 福岡県建築住宅センター理事長賞	12
■ 奨励賞	15
■ 最終選考対象作品	17
■ これまでの大賞受賞作品	19

表彰の趣旨

今回38回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

■ 住宅の部／住宅

■ 一般建築の部／原則として住宅以外

- ・部門ごとに原則として大賞1点、優秀賞1点を選定します。その他、部門を問わず優れた建築物があれば奨励賞を授与します。
- ・（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞として、部門を問わず、既存建築物の一部分もしくは全体をリフォーム・リノベーション※したものを表彰します。

※ リフォーム・リノベーション…老朽化した建物を新築時に近い状態へ回復するための 修繕・模様替え、様々なニーズに対応するため建物の機能・価値を高める改修、執務や暮らし全体に対処した建物の包括的な改修等をいう。

選考委員会 敬称略・50音順 ◎委員長 ○副委員長

坂口舞	有限会社設計機構ワークス 代表取締役
末廣香織	九州大学大学院人間環境学研究院 教授◎
塚崎謙太郎	西日本新聞社 論説委員
知足美加子	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
福田裕美	北九州市立大学国際環境工学部 准教授
松山祐子	工学院大学 客員研究員
百瀬俊哉	九州産業大学芸術学部 教授
矢作昌生	九州産業大学建築都市工学部 教授○

ご挨拶

福岡県知事 ■ 服部誠太郎

本県では、「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。「福岡県総合計画」では、展開する施策の一つとして、「自然との共生と快適な生活環境の形成」を掲げ、良好な景観形成に資する建築物を表彰することにより、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成と快適な生活環境づくりを推進しています。

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、県内の自然、風景、歴史、文化、生活、活動などを背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物を表彰しており、今回で38回目を迎えます。

今回は72もの作品をご応募いただき、誠にありがとうございました。いずれも優れた作品ばかりで、個性豊かな、誇りを持って次の世代に継承することができる景観の形成に資するものであると感じています。

その中から、幅広い分野の学識経験者などで構成する選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた8作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「井堀の家（産後ケアハウスsheep）」、一般建築の部「風のオフィス」をはじめ、いずれの作品も、周辺の自然環境や景観と調和するとともに、地域に根ざした親しみのある建築空間を創出し、個性と魅力にあふれた作品となっています。

これらの作品を表彰することにより、美しいまちづくりに対する県民の皆さまの意識が高まることを期待しています。

結びに、選考委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

主 催 福岡県

協 賛 一財：福岡県建築住宅センター

後 援

独法：住宅金融支援機構九州支店 独法：都市再生機構九州支店 福岡県住宅供給公社 公社：福岡県建築士会 一社：福岡県建築士事務所協会 一社：福岡県建設業協会 公社：福岡県宅地建物取引業協会 一社：九州住宅産業協会 公社：日本建築家協会九州支部	一社：日本建築学会九州支部 公社：日本都市計画学会九州支部 特非：日本都市計画家協会福岡支部 一社：福岡県住宅リフォーム協会 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会 福岡県建設業協同組合 福岡県美しいまちづくり協議会
--	--

総評

選考委員長 ■ 末廣香織

今年で38回目を迎えた本賞には、「住宅の部」25件、「一般建築の部」47件の応募がありました。例年以上に多くの優れた作品を応募をいただいたため、それぞれ専門分野が異なる8名の選考委員による審査は、非常に難しいものになりました。応募書類による8月の一次審査を経て、9作品が現地審査に進み、リフォーム・リノベーション作品を対象とする（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞候補の3作品も現地審査に進みました。現地審査は9月中に行われ、その後の最終審査を経て住宅の部3作品、一般建築の部3作品、理事長賞2作品の受賞が決定しました。

「住宅の部」の大賞を受賞した「井堀の家（産後ケアハウスsheep）」は、住宅地の中にある産後ケアハウスを併設した住宅です。道路に面した広い駐車場から玄関を入ると、中庭を介して左手にケアハウス、右手に住宅があり、その二つの空間が適度な距離を保って配置されています。庭の緑を見ながら様々な性格をもつ場所たちが連続してゆく室内にはとても温かみがあり、訪れる人に安心感を与えていることが感じられました。優秀賞を受賞した「福岡の住宅」は、立体的でダイナミックな空間構成が魅力です。小さな四角い箱を積み上げることによって、眺めの良いリモートワーク用の極小の仕事部屋も含めて、それぞれの目的が明確な個室を確保しています。そしてそれらを中央の吹抜と角度を持った階段が接続することで、外観からは想像しにくい開放感ある室内空間を実現しました。奨励賞を受賞した「THE DOORS」は、都心部に建つ高級賃貸住宅です。巨大な吹抜を持つメゾネットの室内空間には開放感と力強さがあり、1階に駐車場を挿入してスキップした断面構成を取ることで、セキュリティの高い各階1住戸を実現するとともに特徴的な外観を作っています。パターン化している福岡の賃貸住宅に、新たな可能性を切り開いたと言えます。現地審査に残った「久留米の庭と家」も、立体的な庭を含む屋内外の関係が非常に魅力的な住宅でしたが、受賞には一步及びませんでした。

「一般建築の部」の大賞を受賞した「風のオフィス」は、住宅地に建つ木造の自社オフィスです。敷地形状に合わせて決められた三角形グリッドの構成、トラスと合板を併用した屋根構造、環境解析を活用した窓のデザイン、生態系に配慮した緑の活用や雨水利用など、クライアントが取り組む環境配慮の理念を具現化した建築だと言えます。この緑と光溢れる空間で気持ちよさそうに働く方々の姿が印象的でした。優秀賞を受賞した「嘉麻市立稲築東義務教育学校」は、市内の小中学校を再編して9学年が共に学ぶために整備されました。開放的な動線空間である

中央部の吹抜周りが、図書館と一体化した交流空間としてデザインされています。高窓から自然光が入るこの空間には、ステージや観覧席になる大階段やこもって本が読める場所などがあり、子どもたちがあちこちで会話したり勉強したりする様子から、楽しい学校生活がイメージできました。同じく優秀賞の「石橋医院」は、柳川の掘割沿いに建つ水平に伸びる大屋根が印象的です。大屋根下には、前面道路から背後の堀までをつなぐ庭と通路があり、道路からも待合室からも、その美しく切り取られた風景を眺めることができます。道路側の底下には段差があり、道行く人の休憩場所としても使われそうです。現地審査に残った「FANFARE atelier」は、都心部での新しい木造オフィスの可能性を示していましたし、「Cs Somme Café」は、彫刻的な形態の半透明の外皮と白く抽象的な室内空間が魅力的でしたが、受賞には一步及びませんでした。

今年度の「建築住宅センター理事長賞」は、2作品が受賞しました。「Seseragi プロジェクト」は、秋月という歴史ある町の中の建物を改修して、映画イベントのようなソフト面も含めてまちづくりにつなげる活動ですが、新旧のデザインをうまく融合させて新しい価値を生んでいることに、今後の可能性を感じました。「ミリカローデン那珂川」は、図書館やホールを含む古い公共施設を全面的に改修した計画です。図書館の領域を施設全体に広げ、空間内にはほとんど仕切りを作らずに、あちこちに多様な居場所がデザインされています。利用者が好きな場所を見つけて読書したり、勉強したり、お茶を飲んだりできる自由に使える公共建築を作り上げました。現地審査に残った「藍森山 森山耕工房」は、豪雨で被災した古い工房を再生する意欲的な取り組みでしたが、受賞には一步及びませんでした。

審査員一同が、今回の審査を通じて感じたことが二つあります。一つは、この賞に応募してくる作品のレベルが年々向上しているように思えることです。これは、応募する側にとっては大変だとも言えますが、審査に関わる私たち、そして福岡県にとっては非常に喜ばしいことです。もう一つは、リノベーション・コンバージョンの優れた事例が増えたことです。これはまさに時代の流れを表しているように思えます。本賞の今後のさらなる展開とともに、福岡県により魅力的な建築やまちづくりの事例が増えてゆくことを願っています。

大賞 [住宅の部]

井堀の家（産後ケアハウスsheep）



設計趣旨

住宅街の中に建つ小さな産後ケア施設を併設した店舗兼用住宅である。産後ケア施設とは育児中のお母さんが求めるケアを助産師が提供する施設である。育児、授乳相談、食事やゆっくり時間の提供を助産師である奥様自身が行っている。平日は夜間もゲストが滞在するため住宅と施設は中庭を挟んだ構成としている。とはいえ扉一枚で繋がっているため住宅のダイニングでゲスト同士のランチ会やママさん教室などのイベントが行われることも。住宅としてのプライバシーの確保をしながらも利用状況に応じて都度柔軟に使えるゾーニングとしている。ゲスト滞在中は

中庭側に開くことは難しいので中庭側上部の窓や裏庭からも空や緑を感じられるように配慮している。なお施設の営業は平日のみであるため週末はご家族が中庭で食事をとるなどゆっくりとした時間を過ごされているようである。外観はプライバシーの観点から閉じたボリュームとしているが奥へと伸びるアプローチにより「抜け」を作り圧迫感を抑えるように配慮している。外壁は小国杉によるボード&バテン貼りすることで陰影のある豊かな表情として、自然素材の経年変化と共に地域に馴染んでいくことを期待している。

作品概要

所在地 北九州市小倉北区
建築主 個人
設計者 森 敬幸 一級建築士事務所 森 敬幸
〒805-0041
福岡県北九州市八幡東区祝町1-9-8
TEL 080-5379-5586
mori-archi.com<http://mori-archi.com/>
施工者 株式会社くまがえ工務店 熊谷 大毅
浦田庭園設計事務所株式会社 浦田 知裕
用途 住宅、助産所
構造規模 木造 1階建て
竣工日 2025年5月28日

大賞[一般建築の部]

風のオフィス



設計趣旨

生物や植物の調査を主たる業務とするエコプラン研究所がキーテナントとして入居する住宅街に建つオフィスの計画である。研究所のメンバーの業務に関する話はいつも興味深く、ぜひ地域の子どもたちにもこの仕事の魅力を知ってもらいたいと考えた。さらに、彼らは環境調査をし、その結果を環境保全に役立てることを生業としているので、このオフィスが直接近隣住民の環境意識を訴求するものになることを目指した。

本計画の敷地は住宅街の高台に位置しており、気持ちの良い風が吹き抜けることが予測できた。そこで、実験を行い強風が吹いても書類が飛ばないように

「風量調整建具」を開発した。また、全面道路との境界には小さな雨庭を設け、大雨のときには雨水を一時貯留できている。さらに、近隣の公園に絶滅危惧種であるクロツバメシジミという蝶が生息していることがわかったため、その蝶が好む植物を植えた。早速、蝶が飛来してきて、幼虫も確認されている。このような活動が北九州市の推進するグリーンインフラの一助になればと考えた。

オープンハウスには隣接する高校の先生や生物部の生徒も沢山見学に来ていただいた。今後、この建築を通じて近隣地域の住民に環境に対する意識が少しずつ醸成されていくことを願っている。

作品概要

所在地 北九州市八幡西区
建築主 株式会社FCホールディングス
代表取締役会長 福島 宏治
設計者 株式会社 古森弘一建築設計事務所
古森 弘一 橋迫 弘平 穴井 健一
〒802-0001
北九州市小倉北区浅野2-6-16-3F
TEL 093-967-0123
<https://furumori.net/>
有限会社 GREEN ROOM DESIGN 桑原 大樹
〒803-0835
北九州市小倉北区井堀1-9-11
TEL 093-482-1983
<https://greenroomdesign.jp/>
施工者 株式会社 東建設 東 泰次
用途 事務所
規模構造 木造 2階建て
竣工日 2024年11月29日
撮影 大森 今日子



設計趣旨

福岡県福岡市内の閑静な住宅街に建つ戸建住宅の新築計画である。クライアントは東京の企業に勤めるフルリモート勤務の夫婦であり、二人の生活の大部分は住宅の中で完結する。そのため、働くことと休息の明確な境界を持たず、自由に生活の場面が切り替わる柔軟で複層的な空間が求められた。

空間をあらかじめ用途で固定せず、光や風、眺望といった空間の性質に着目して、場所ごとの可能性を引き出そうと考えた。三層吹き抜けの明るい大きなボリュームに対して、小さな空間がニッチ状に取りつくように配置されている。小室内は立体的に散りば

められ、屋内外や回遊動線によって緩やかに連結されている。居住者は日常の中で常に異なるスケールと性質の空間を横断しながら、多様な居場所をその時々気分や活動に応じて選択できる構成となっている。

建物全体は統一された一つの箱ではなく、小さな空間が集積し、階段や吹き抜けが路地や坂道のように機能する「小さな街」のような住宅を目指した。用途を固定化しない柔軟な空間の重なりが、働くことと暮らすことの境界が融解していく現代の住まい方に新たな可能性を提示している。

作品概要

所在地 福岡市南区

建築主 個人

設計者 axonometric株式会社
代表取締役 佐々木 慧
〒812-0015
福岡市博多区山王1-1-15-401
<https://axonometric.jp/>

施工者 株式会社久木原工務店
代表取締役社長 久木原 圭一

用途 専用住宅

構造規模 木造 3階建て

竣工日 2024年10月28日

撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE

優秀賞 [一般建築の部]

嘉麻市立稲築東義務教育学校



設計趣旨

ひとつづくりの場となる義務教育学校

嘉麻市は炭鉱閉山後の人口減少と少子化が進む中、地域活性化の核となる学校の役割を重視し、市内3校区を同時に整備した。子ども達の学習環境の創造とともに、「まちづくりは、ひとつづくり」という市の想いを込め、子どもと大人が共に学べる「ひとつづくりの拠点」となる学校を目指した。計画では、文部科学省が掲げる「新しい時代の学び」に応える多様な学習空間の整備、デザインビルド(DB)方式によるローコスト化と短工期の実現、木質化による子ども達の豊かな生活環境の提案が求められた。

学校の中心に、全学年が利用できる学びの場として「メディア commons」を

計画した。上下階をつなぐ動線を兼ねることで空間効率を高めながら、異学年や教職員との自然な出会いを生む場となっている。オープンな図書スペースの周囲に特別教室を配置し、「本と専門教科がつながる学び」を促進する構成とした。さらに、子ども達の生活拠点として学年ごとに独立したクラスルームユニットを計画し、学年活動や連携が行いやすい環境とした。DB方式を最大限に活かし考案した「LVLプレキャスト化粧型枠」は、構造・意匠・施工・コストのメリットを生み出し、教室の無天井化による安全性の確保と階高縮減による周辺地域への日影、圧迫感軽減に配慮した。

作品概要

所在地	嘉麻市
建築主	嘉麻市 市長 赤間 幸弘
設計者	株式会社久米設計 九州支社 支社長 永野 孝之 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12 メットライフ天神ビル TEL 092-781-5211 https://www.kumesekkei.co.jp/
施工者	株式会社鴻池組 代表取締役社長 渡津 弘己
用途	義務教育学校
構造規模	RC造 一部S造 3階建て
竣工日	2023年2月(校舎棟・アリーナ棟完成) 2024年6月(外構工事完成・竣工)
撮影	1.YASHIRO PHOTO OFFICE 2.イクマサトシ 3.野原春花

優秀賞 [一般建築の部]

石橋医院



設計趣旨

福岡県柳川市に計画した創立100年を迎えた歴史ある診療所である。建主はかつて沖縄県竹富島にある竹富診療所で、島民と共に島の健康づくりを推進し、地域医療を支えてきた医師である。

先代が守り続けてきた診療所を引き継ぐにあたって、自分の生まれ育った柳川の自然、歴史や文化を守り継ぎたいと願う建主は、「かかりつけ医」として、地域の人びとの予防医療と健康づくりを支えると同時に、気軽に集える場所としても開かれた地域医療の拠点となる建築を望まれていた。

計画地は柳川市内の中心部に位置し、まちの主要な幹線道路と、旧柳川城下にめぐらされたお堀りに面した、まちとお堀りをつなぐ場所であり、間口15m・奥行き40mの細長い敷地形状である。水平な大屋根を持つ平屋建ての建築は、沿道の町並みに面した5.0mある深い軒下空間を持ち、お迎えを待つ患者さんや人びとの日々の交流を受け入れる場として地域に開かれている。

平面計画は奥行き方向5.5mのスパ

ンで構成され、西側半分には診察室や処置室、バックヤード等の医療空間を集約させ、医療スタッフの動線をコンパクトにする事で、質の高い医療行為を提供できるように配置している。一方、東側は沿道とお堀りをつなぐ開放的でのびやかな待合空間となっており、地域の人びとが集える場としている。5.2m跳ね出した屋根とガラスのみで構成された待合空間は、沿道からお堀りまで36mにわたって無柱空間が続き、3.5mの開放的な天井高さによって、庭の草木や花といった自然、陽の光や四季の移ろいを身近に感じながら過ごすことができる。お堀りの側に配置された「くらしの保健室」は、建主の理想とする、食を通して保健・栄養指導が可能な調理スペースを設けており、柳川の川下りの風景と共に医療と地域コミュニティが育まれる場を創出した。

建主が取り組む「健康づくり」の場が、地域の人びとに寄り添える地域医療の拠点として、柳川の人びとの心の拠り所となることを願っている。

作品概要

所在地 柳川市

建築主 医療法人 石橋医院 石橋 興介

設計者 株式会社 松山建築設計室 松山 将勝
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前4-25-14-8F
TEL 092-433-1128
www.matsuyama-a.co.jp

施工者 株式会社 イノウエハウジング 井上 正通

用途 診療所

構造規模 S造平屋建て

竣工日 2024年5月2日

撮影 石井 紀久

福岡県建築住宅センター理事長賞 [既存建築物のリフォーム・リノベーション]

Seseragiプロジェクト



設計趣旨

秋月は福岡県中部、古処山の麓に位置し、三方を山に囲まれた谷間に形成された歴史的集落である。中世には秋月氏が山城を構え、近世以降は黒田氏による城下町として整備され、「筑前の小京都」とも称される独自の景観を保持してきた。江戸時代の町割りや水路網、武家屋敷、町家、石垣、そしてかやぶき屋根の民家などは、近代化から取り残されたがゆえに奇跡的に現存している。しかし、近年は人口減少や建物維持の困難化、空き家や駐車場の増加、景観を損なうインフラの導入など、町の風景は徐々に変わりつつある。私たちが手がけた「Seseragi プロジェクト」は秋月全域に絶え間なく流れるせせらぎへのオマージュであるが、まち中で起こり始めているこれらの問題への抗議でもある。

このプロジェクトは街道と野鳥川を結ぶ敷地に建ち並び、建物の隅々と庭との間に、空間の流れを形成している。通りに面したお好み焼き屋だった家。

思い出が詰まった伝統建造物の蔵。江戸時代から残るかやぶき屋根の民家。そして川岸にへばりつく古民家。これらの建物を素直な視点から改修し、柔軟なプログラムを設けることで、見捨てられた場所を再生させるだけでなく、互いに、そして周囲の自然ともつながっていく。例えば、ゲストハウスで作家を受け入れ、秋月街道に面した展示スペースでギャラリーを開く。付属してイベントを行う場合は隣で社交の場を提供したり、川を超えたシェアオフィスで共同制作を行う。新たな空間やプログラムは単独で機能するだけでなく、必要に応じて一体となり、住民の交流や外部の人々を迎え入れる場となる。街道や川に沿って灯された空間や、かつての輝きを取り戻した伝統的なファサードはせせらぎがまちに齎す影響と重なる。せせらぎのように、騒がしすぎず、常にそこにあり、周囲の環境に生を与え続けている。

作品概要

所在地 朝倉市

建築主 KEZZA株式会社 代表取締役 Kerry Greer

設計者 株式会社アキ・アーキテクツ 一級建築士事務所
グリアー・ハナ・ハヤカワ
ヘクター・バランテ・モンテス
〒838-0001
朝倉市秋月297-2
TEL 090-2858-5594
<https://www.akiaki.co.jp/>

施工者 株式会社 田尻建設 田尻 雄輝

用途 住居、シェアオフィス、ギャラリー、ゲストハウス

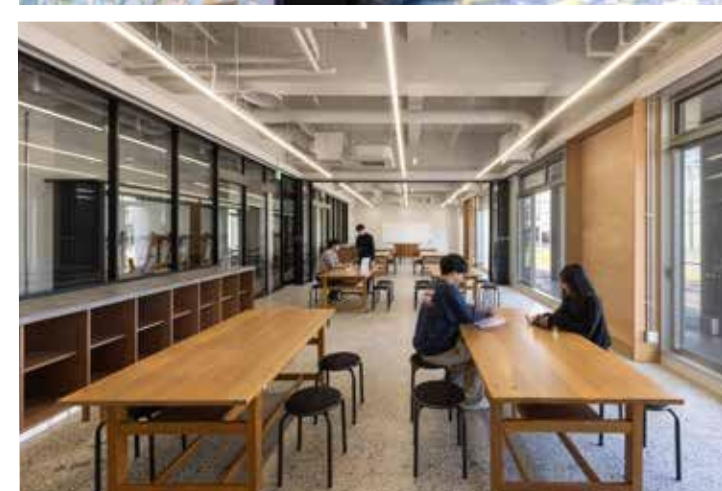
構造規模 木造 1-2階建て

竣工日 2024年4月

撮影 伊藤 建太郎

福岡県建築住宅センター理事長賞 [既存建築物のリフォーム・リノベーション]

ミリカローデン那珂川



設計趣旨

那珂川市で長く愛されている音楽ホール・図書館・生涯学習センター・記念館・エントランスホールによって構成される複合文化施設ミリカローデン30年目のリニューアルプロジェクト。この施設にたくさんの種類の居場所をつくるために、スタッフ総がかりで「100の居場所」のスケッチをした。条件に捉われずとにかく数多く描き出し、たくさんの過ごし方をデザインすることで、できる限り世代や性別を問わず多様なリクエストにこたえることができる施設をめざした。さらにスケッチを手がかりに、家具の色や形、素材などを詳細に検討し、施設内のそれぞれの場所の特性を明確化していった。なかでも那珂川産材のスギやヒノキの無垢材を積層させ

た「ミリカの木」は、賑やかな場や落ち着いた場などをグラデーションにつくる起点として重要な役割を果たしている。

また、あらゆる場所で興味のキッカケに出会うことができるよう、ホールの前や生涯学習センターの廊下などあらゆる場所に本棚が散りばめられている。

この施設はこれまで那珂川市の30年にわたり歴史を集積し、市民に寄り添い関係の基盤を構築してきた。今回の改修を経てさらにこの街への愛着が育まれていくことを期待している。

作品概要

所在地 那珂川市

建築主 那珂川市長 武末 茂喜

設計者 株式会社 古森弘一建築設計事務所
古森 弘一 橋迫 弘平 穴井 健一
〒802-0001
北九州市小倉北区浅野2-6-16-3F
TEL 093-967-0123
<https://furumori.net/>

施工者 匠・広田特定建設工事共同企業体 荒川 和彦
株式会社銘和建設 佐野 忠博
株式会社幸州 三山 寿幸
溝江・友信特定建設工事共同企業体
代表者 溝江建設株式会社 代表取締役 溝江 弘
株式会社クサカベ 日下部 祐一郎

用途 複合文化施設

構造規模 RC造一部S 地上4階、地下1階建て

竣工日 2025年4月27日

撮影 大森 今日子

奨励賞 [一般建築の部]

THE DOORS



設計趣旨

本計画は、全住戸を2層吹き抜けのメゾネット形式とし、約5.7mの高天井リビングやアイランドキッチンを備えることで、従来の共同住宅にはない開放感と上質な暮らしを実現した。居住者に豊かな体験をもたらすと同時に、共同住宅の新たな価値を提示する建築である。

建物は菓院の落ち着いた街並みに調和しつつ、開口部やバルコニーのリズムが通りに変化を与え、地域に自然に溶け込む佇まいを形成している。地域に寄り添い親しまれる建築を目指した。

1フロア1住戸と吹き抜けにより自然光と風を取り込み、都市にありながら快適で潤いある住環境を実現した。これに

より居住者の暮らしを豊かにするだけでなく、周辺地域の質的向上にも寄与している。

また、内部の立体構成を外観に表現し、バルコニーや開口部が生む陰影が街並みに表情を与えている。屋上テラスは都市に自然を呼び込み、住まい手だけでなく街全体に潤いをもたらしている。

限られた敷地で吹き抜けとメゾネットを活用し、全住戸を角部屋とすることで採光・通風・プライバシーを両立させた。都市型賃貸共同住宅の新しい姿を示し、今後のモデルケースとなる建築である。

作品概要

所在地 福岡市中央区

建築主 株式会社ラ・アトレ
代表取締役 脇田 栄一

(所有者) 関電不動産開発株式会社
代表取締役 福本 恵美

設計者 株式会社マツダグミ一級建築士事務所
松田 満成
〒810-0074
福岡県福岡市中央区大手門1-5-6 中岡ビル302
TEL 092-210-0008

施工者 大和興業株式会社
代表取締役 梅尾 裕一

用途 共同住宅(賃貸マンション)

構造規模 RC造10階建て

竣工日 2024年1月26日

最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

久留米の庭と家



所在地 久留米市

建築主 個人

設計者 Goya Schröder & associates 合屋 統太
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-23-26

施工者 株式会社原口建設 原口 義彦

用途 専用住宅

構造規模 木造 2階建て

竣工日 2022年11月30日

撮影 八坂 麻里子



藍森山 森山絢工房



所在地 八女郡広川町

建築主 藍森山 森山 浩一
森山 典信

設計者 株式会社スタジオモブ 代表取締役 中尾 彰宏
代表取締役 齋藤 慶和
〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル305
TEL 090-9465-9872 <https://stmmove.com>

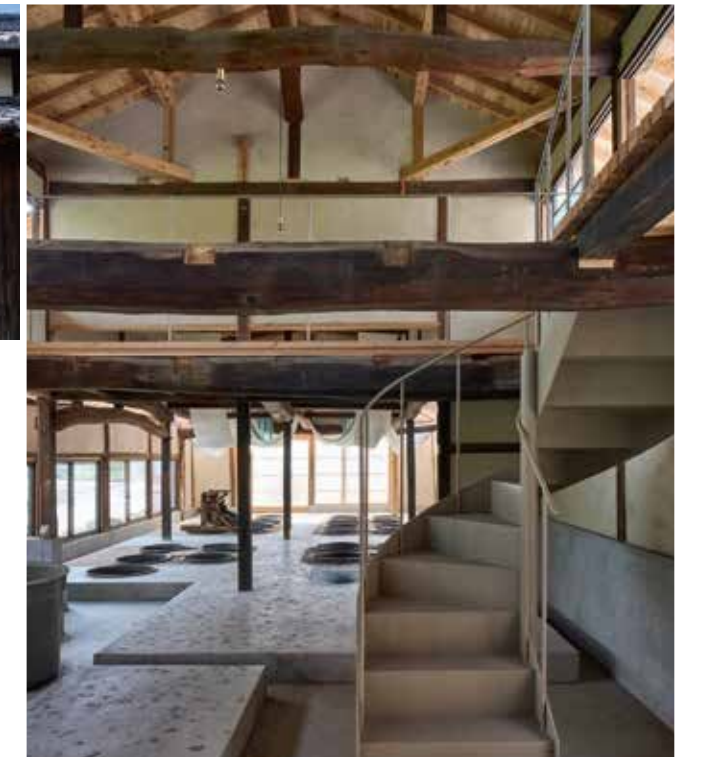
施工者 国武建設 国武 裕三

用途 工房

構造規模 木造 2階建て

竣工日 2025年6月10日

撮影 exp 塩谷 淳



Cs Somme Café



所在地 福岡市南区
建築主 株式会社 清和 代表取締役 大田 衛
設計者 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所 隈 研吾
施工者 株式会社 大敷組 代表取締役社長 小川 海志郎
用途 飲食店
構造規模 S造 1階建て
竣工日 2024年12月10日
撮影 田中 克昌

FANFARE atelier



所在地 福岡市博多区
建築主 株式会社FANFARE 代表取締役 CEO 梶原 清悟
設計者 株式会社FANFARE 代表取締役 CEO 梶原 清悟
〒812-0036
福岡県福岡市博多区上呉服町2-4 atelier FANFARE
TEL 092-406-8600
<https://at-fanfare.com/>
施工者 株式会社イクスワークス 舟木 和彦
用途 事務所
構造規模 木造 3階建て
竣工日 2022年1月20日

これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞
大賞受賞作品 37th-35th

37 第37回福岡県美しいまちづくり建築賞
・道山さんの家／三角敷地の道と屋根
・福岡大名ガーデンシティ



©西久保毅人



©濱邊信晴

36 第36回福岡県美しいまちづくり建築賞
・houseG/shopG
・太宰府天満宮 仮殿



©河野太一

35 第35回福岡県美しいまちづくり建築賞
・HOUSE W
・福岡市立平尾霊園合葬式墓所



©Koji Okamoto (Techni Staff)



©中村 絵

これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり建築賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品 34th-16th

34 第34回福岡県美しいまちづくり建築賞
・TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE
・柳川市民文化会館 水都やながわ
撮影:Yosuke Harigane

33 第33回福岡県美しいまちづくり建築賞
・浦志の家
・嘉麻市庁舎
撮影:八代聖真事務所

32 第32回福岡県美しいまちづくり建築賞
・平和の家
・福岡県弁護士会館
撮影:前永研一

31 第31回福岡県美しいまちづくり建築賞
・小屋の間
・すばる保育園
撮影:坂口聖真事務所 飯田正臣

30 第30回福岡県美しいまちづくり建築賞
・糸島の家 (MPラボ)
・西南学院大学図書館
撮影:石井紀久

29 第29回福岡県美しいまちづくり建築賞
・太宰府の家
・SHIP'S GARDEN
撮影:大野博之

28 第28回福岡県美しいまちづくり建築賞
・松原の家
・BOATHOUSE OHORI PARK
撮影:Techni Staff

27 第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
・大池の住宅
・椎木講堂
撮影:石井紀久

26 第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
・Obi house
・筑紫保育園 分園
撮影:Y.haigane(Techni Staff)

25 第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
・四季の家
・料亭 嵯峨野
撮影:石井紀久

24 第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
・むさヶ丘の住宅
・築上町火葬場
撮影:石井紀久

23 第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
・豊前の家
・下川歯科医院
撮影:みどりの写真

22 第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
・ベットと暮らす家(K邸減築工事)
・天神MENTビル
撮影:前永研一

21 第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
・東神原の家
・アクア博多
撮影:Y.haigane(Techni Staff)

20 第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
・須崎の長屋
撮影:石井紀久

これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり賞、建築住宅文化賞]大賞受賞作品 15th-1th

15 第15回福岡県美しいまちづくり賞
・City Cube
・榊葉幼稚園
撮影:岡本公三

14 第14回福岡県美しいまちづくり賞
・大野城の住宅
・ひふ科いのクリニック
・八女市多世代交流館「共生の森」
撮影:岡本公三

13 第13回福岡県美しいまちづくり賞
・めくばーる三輪
・青葉台ぼんえろふ
撮影:岡本公三

12 第12回福岡県建築住宅文化賞
・山田市立下山田小学校
撮影:岡本公三

11 第11回福岡県建築住宅文化賞
・瀬高町立図書館・歴史資料館
・山村留学ふれあい館 (筑穂学舎)
撮影:石井紀久

10 第10回福岡県建築住宅文化賞
・鞍手の家
・太宰府長浦台の家
撮影:岡本公三

9 第9回福岡県建築住宅文化賞
・碓井琴平文化館
・新宮湊坂
撮影:岡本公三

8 第8回福岡県建築住宅文化賞
・縄田邸
・上隅町立尾久保小学校
撮影:岡本公三

7 第7回福岡県建築住宅文化賞
・茶の文化館
・二丈町の家
・山笠の家 (橋本部)
・西大谷第2団地 (市営住宅)
撮影:岡本公三

6 第6回福岡県建築住宅文化賞
・田川文化エリア
・福岡県青少年科学館
・佐田邸 (4世代の家)
撮影:岡本公三

5 第5回福岡県建築住宅文化賞
・刈田町立図書館
・明治学園高等学校体育館
・カルタックスおおむた
撮影:岡本公三

4 第4回福岡県建築住宅文化賞
・進藤邸
・不知火病院「海の病棟」
・山田市立山田小学校
・福岡ウォーターフロント プロムナードマリゾン
撮影:岡本公三

3 第3回福岡県建築住宅文化賞
・松口邸
・野野瀬医院
・立花山の家
・グリーンピア八女
撮影:岡本公三

2 第2回福岡県建築住宅文化賞
・石橋別邸第一水明荘
・福岡医院
・花園幼稚園
・ビレッジ香月
撮影:岡本公三

1 第1回福岡県建築住宅文化賞
・北九州市立美術館
撮影:岡本公三